

2013 年 4 月 28 日 「真の父母に愛された私達。今、何を成すべきか」

石川祐司教会長

今日は、「日臨節 72 周年記念大会」の視聴と、石川教会長の説教でした。真の御父母様に思いを馳せ、涙ぐむ方々がいらっしゃいました。

以下に、訓読のみ言を掲載いたします。

＜訓読のみ言＞

「天地人真の父母様ご聖婚 53 周年記念式でのお母様のみ言」

日時：天一国元年 3 月 16 日(陽暦 4 月 25 日)

場所：アメリカ・ラスベガス 天和宮

私たちが摂理歴史において春を迎えました。そして、2013 年の 4 月であればそれは春です。春を準備するにおいて、一番忙しい人は誰ですか？農夫なのです。皆さんはいかがですか？農夫の心を持って、天が私たちに付与して下さった責任を完遂することが出来る、希望の日を準備されましたか？よく冬の寒さを「冬将軍」と呼びます。冬に寒さで凍った土地を「凍土」と言います。ならば、春は何と言いますか？春は、春将軍です。その土地は「春土」と言います。凍土の凍りついた地が、春を迎えて種を迎える準備をする時なのです。それでは、農夫はどうしますか？冬の間ずっと計画を立てます。私が春に何を、どのような種を蒔いて、秋に多くの収穫を得られるかを考えます。そして昔ながらの方法でやる人もいますが、より教育を受けて学ぶ人々は、どのように現代文明の利器を使い、より良く、より大きく、そしてより多くの収穫を得るための勉強をするようになり、より努力するようになるのです。現在、皆さんがみ旨の前において農夫であるならば、皆さんに付与された民族的メシヤの使命が皆さんの沃土となります。沃土を作るのか、もしくはそれを薄土とするかは、まさしく皆さん自身にかかっているのです。これを実感していますか？ならば、このように良い季節を迎えていながら皆さんが怠けた行動をするならば、秋に皆さんの収穫は微々たるものにしかありません。祝福を受けた位置が、そのようにじっとして成り立つものではありません。わかりますか？

今日、真の父母様の生涯に関する短いビデオを見ました。父母様に会えなかったならば、どのような人生を歩んでいたと思いますか？それぞれの国において、それぞれの家庭で、それぞれ置かれた環境において、ただ暮らすことにこだわりながら生きていたはずですが。周りを見渡すであるとか、大きく考えるであるとか、国のために、世界のために生きようとする人が極めて少ないのです。しかし、真の父母様に会った皆さんの考えは大きいですか？小さいですか？

大きな人は、どのように大きく考えて行動しなければなりませんか？それもわかりますよね？ならば皆さん方が今、春を迎えながら、どのように苦勞して精誠を捧げるかによって、摂理歴史の秋、この 2013 年のお父様聖和一周年を迎えるようになる日に、皆さんがどのよ

うな姿で、どのような実績を持って父母様に感謝の心で立ちますか？期待してみます。熱心
にしてください！